

朝市グルメのキッチンカー 河北中央病院でイベント

津幡町の河北中央病院駐車場で18日、元日の能登半島地震で焼失した輪島朝市ゆかりのグルメを販売するキッチンカーイベントが初めて開かれ、病院職員や地域住民が輪島の海産物を使ったメニューを堪能した。

病院では9月から、職員の福利厚生などを目的に週2回程度、県内のキッチンカー業者を招いている。被災地の復興を後押ししようと、県内外で能登半島地震復興支援カフェ・ショップを運営する百年珈琲（金沢市）に出店を依頼した。

この日は輪島朝市の応援メニューとして、干しノリのマヨネーズあえとあごだしのクリームチーズを使ったオープンサンドが提供され、大勢の人が買い求めた。輪島塗の箸などの工芸品も人気を集めた。

昼食と輪島塗の箸を購入した放射線技師の50代女性は「輪島の味や工芸品を楽しみたい」と話した。キッチンカーの販売スタッフの横山麻美さん（39）は「いろいろな場所に出店し、被災地と復興を応援したい人をつなげたい」と話した。



昼食を買い求める病院職員
津幡町の河北中央病院

被災地